

2014 4/8

No.1968

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



箱根町仙石原のススキ草原で3月24日、恒例の「山焼き」が行われ、真っ赤な炎が一面を黒く焦がした。山焼きは、火を入れることでススキ草原の植生と景観を維持するため、1989年に始まった。



contents

視点・点描	3
チャンス呼び込もう	
講演録	4
「最近の金融経済情勢について」 日本銀行横浜支店長 竹澤 秀樹	
国際	8
インドネシア、有望進出先1位に 鍵は選挙結果とインフラ整備	
暮らし2014	10
「自助具」を知ろう！	
広告珍談	12
～新聞広告が始まった⑦ ついに広告新聞が	
NNAアジア経済レポート	13
会員のページ	14
ミャンマー報告会 会員の動き	
会員のページ	15
2014年度事業計画	

事務局だより

◇横浜定例講演会

2014年4月14日（月）

13時30分～15時

新横浜プリンスホテル 3階

「セレナーデ」

講師はPHP総研国際戦略研究センター長、主席研究員の金子 将史 氏

演題は「パワーシフトと日本の進むべき道～これからの日米関係を中心に～」

視点 点描



チャンス呼び込もう

もっと販路を拡大したい、ビジネスパートナーが欲しい。そんな課題を抱える中小企業同士に出会いの場を提供するマッチングイベントが16日、川崎市産業振興会館（川崎市幸区堀川町）で開催される。「ビジネスリゾート2014」主催・県中小企業家同友会川崎支部、共催・川崎市産業振興財団。当日は、自らビジネスチャンスと呼び込もうという意欲的な

中小企業が会場を埋め尽くしそうだ。 出展企業約90社をみると、「川崎はものづくり都市」というイメージは、もはや過去のものではないかと思ってしまう。もちろん、伝統の「ものづくり」企業は出展するのだが、飲食・弁当サービス、保険代理業、社会福祉事業、オーダーメイドスーツ、葬祭業など顔ぶれは実に多彩だ。



2012年に開催された前回のビジネスリゾートの様子

出合いの場は、完全に仕切られた個別ブースでじっくり商談ができる「ビジネスフロア」（会館1階）と、開放的なブースが並び中央にはイベントスペースがある「リゾートフロア」（同4階）に分かれる。両フロアとも中小企業の実際の姿に触れられ、企業経営者だけでなく企業研究の学生や大学教授らにも役立ちそうだ。

事前申し込みが必要だが、大企業の社員が自社の開放特許を紹介

する市知的財産交流会（同9階）や、弁護士、税理士、公認会計士らが悩みやトラブルの相談を受ける士業リレーショーセミナー（同10階）なども開催される。

ユニークなのは、市内に拠点を構える大相撲の春日山部屋やワールド女子プロレス・ディアナ、川崎フロンターレ、川崎新田ボクシングジムが出展すること。イベントスペースでそれぞれがプロの技を披露し、盛り上げに一役買う。

前回のビジネスリゾートは2012年に開催された。終了後のアンケートには出展企業のほぼ半分が「マッチングあり」と回答。中には「複数の企業から声が掛かった」という企業もあったということ。ことしもさまざまな出会いが期待される。

（神奈川新聞社川崎総局長

小松 裕史）

ついに広告新聞が

新聞の題名は、広告的な意味合いを持つている。朝日は日の出とともに新鮮な記事を読んでほしい。毎日、毎日お読みください、ということだろう。読売は江戸時代、かわら版を読み聞かせて売り歩いた、つまり声の「広告」をそのまま題名にした。

新聞黎明期、発行元は題名にいかん苦労したか、珍物を列記するとその痕跡が分かる。まず東京から。公私雑報、遠近新聞、海陸新聞、風のたより、そよふく風、目覚新聞、万国女新聞、花の都女新聞、天理可楽怖（電信や電報をテレグラフと）、開花新聞、影響新聞、魁到新聞、平仮名絵入新聞、仮名書新聞、かなよみ、ふりかな新聞、四十八字新聞誌、まいにちひらがなしんぶん、めさまし、あけぼの、

あら磯新聞、童子あら熊新聞、東京さきがけ、新聞心得草、各国新聞雑誌、吹寄新聞、真新聞、普通



新聞、解釈新聞、大阪を連想する木の花新聞、明告新聞、有喜世新聞、憂国議事新聞、政談いろは新聞、国会準備新報、なぐさみ、真砂新聞、絵入袋新聞、明治なつてなぜか江戸新聞、こがね新聞、実用新聞、東京電報、勉強新聞、公

論新報、日本たいむす、利益新聞など。

各地の題名巡りをしよう。青森 〓奥羽から北海道まで網羅したのか秋田青森函館新報、新潟 〓ありあけ新聞、米沢 〓置賜新聞とは最上川上流の地名。水戸 〓よほど程度が低い記事

なのか通俗新聞、高崎 〓書抜新聞。横浜 〓仮名読新聞、大阪みたいな此花新聞。中津 〓田舎新聞、甲府 〓生読新聞、いろは新聞、をとめ新聞、かなめ新聞、はつね新聞、岐阜 〓英風新聞としゃれた。長野 〓富貴寄新聞、福井 〓雪の夜話りとは、お化け話ばかりなの。津 〓勢海新報、名古屋 〓書抜日報、第二大学区新聞とは、どんな意味だろう。金城たより、黄

行

金新聞、大津 〓さゝ浪新聞、京都市 〓中外電報、隔日新聞とは1日置きでの発行？ 大阪 〓コケッコートと鶏鳴新報、浮世風聞、浪花実生新聞、でつち新聞、和歌山 〓弱山新聞、神戸 〓花香美新聞では記者はやる気なく、購読者もいないね。岡山 〓備都苦利新聞、広島 〓美

佐々新聞、徳島 〓普通新聞、松山 〓愛比売新聞、布多那新報、高松 〓腰抜新聞とはふざけるナ。下関 〓馬関日報、大分 〓田舎新報、一週新聞とは週刊紙？。福岡 〓めさまし新聞、九州を意味する鎮西自由新聞。熊本 〓不知火新聞。

1878(明治11)年、東京で「引札新聞」がでた。引札は江戸時代のチラシのこと。広告新聞とあだ名されたのは福沢諭吉の《時事新報》。1面から広告だったから。

(美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住) (図) 1ページ全部を広告にした「時事新報」。明治28年9月1日発行